

空き家の適正管理 連携協定を締結

市と市シルバー人材セ

山形

山形市と市シ
ルバー人材セン

ター（長瀬洋男理事長）は
8日、空き家の適正管理に
関する連携協定を締結し
た。市が空き家の所有者か
ら相談を受けた際、除草
などを行う同センターの
取り組みを紹介し、連携し

協定に関する管理の適正



て生活環境の保全に努め
る。

市によると、2018年
度時点で市内には約340

協定書を手にする長瀬洋男理
事長（左）と佐藤孝弘市長

山形市役所

0軒の空き家がある。約1
300人の会員を持つシル
バー人材センターが、新た
に空き家の状況確認、除草、
植木の剪定（たぎら）などを行う。市
はこれら同センターの業務
内容について広報する。

市役所で締結式を行っ
た。佐藤孝弘市長は「安全
で安心なまちづくりにつな
げたい」、長瀬理事長は「市
と協力して市民が安心して
暮らせるように貢献した
い」とそれぞれ話した。

（稲村裕介）